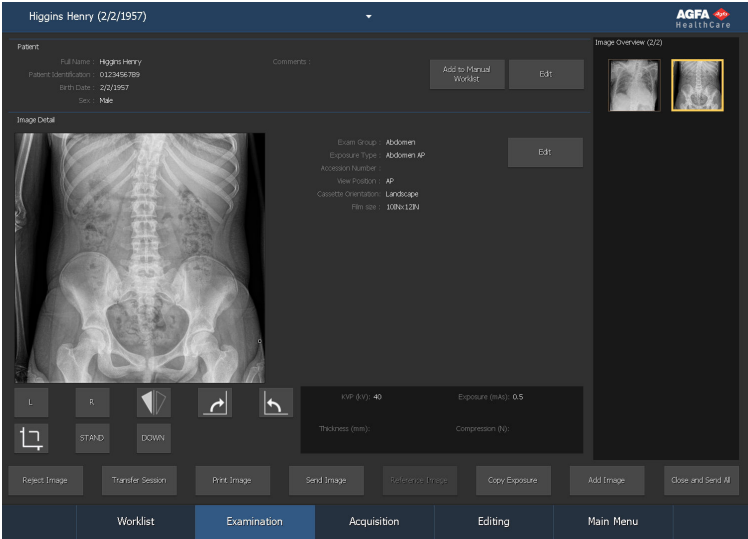


MUSICA Acquisition Workstation

問題解決シート




内容

法的通知	3
DR 画像が表示されない	4
CR 画像が表示されない	6
リアルタイム動的画像の停止	7
画像の一部しか表示されない	8
画像が部分的にブラックボーダーで覆われる	10
NX が作動していません	12
ウィンドウ/レベル設定が完全に範囲外である	13
アーカイブボタンが無効である	15
アーカイブはドロップダウンリストで選択できない	16
DR 検知器は故障しています	17
間違った照射でカセットが識別される - スキャン前に検出される	19
カセットが間違った照射で識別され、画像が受信された	20
ユーザーの誤りのため、間違った患者データでカセットが識別される	21
DX-M デジタイザのカセットを識別する際のエラー、「有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」。	22
デジタルトモシンセシス再建の失敗	23

法的通知



0413

 Agfa NV, Septestraat 27, B-2640 Mortsel - Belgium

Agfa の製品に関する詳細な情報については、www.agfa.com をご覧ください。

Agfa と Agfa-Rhombus は、Agfa-Gevaert N.V., Belgium または関係会社の商標です。NX と MUSICA は、Agfa NV, Belgium または関係会社の商標です。他のすべての商標は各所有者に帰属しており、侵害の意図無く、中立的な仕方で使用されます。

Agfa NV は本書に含まれる情報の精度、完全性または利便性に関して明示的または黙示的に保証または表明するものではなく、任意の特別な目的に対する適用性を特定の表明するものではありません。場所によっては、製品とサービスは使用できない場合があります。利用できるかどうかについて、地元の販売部の代表までお問い合わせください。Agfa NV は提供情報の正確さには努めますが、誤字の責任を負いかねます。Agfa NV は本書に記載される情報、機器、手段またはプロセスに起因する損害に対していかなる状況のもとでもその責任を負いません。Agfa NV は本書の内容を事前に通告することなく変更する権利を保有します。本書の原本は英語で作成されています。

著作権 2018 Agfa NV

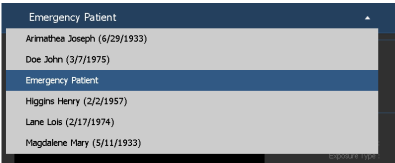
著作権所有。

発行: Agfa NV

B-2640 Mortsel - Belgium。

Agfa NV 社からの書面による許可がない限り、この文書のどの部分も、いかなる形式でも再製、複写、編集あるいは転送することはできません。

DR 画像が表示されない

詳細	DR 検知器を使用して画像を取得したが、検査で表示されない。
原因	<p>NX ワークステーションへの照射後、DR 検知器が画像を直接送信できなかった。</p> <p>画像リカバリ処理は、ほとんどの場合で画像を回復できません。表示項目データが失われる可能性があります。既定データは使用されます。</p>
簡単な解決策	<p>DR 検知器は無線以下を実行します：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. エラーメッセージ内に表示された活動を実施。 2. ソフトコンソール内の DR 検知器接続状態を確認。 3. DR 検知器のアクセスポイントを閉じる。 4. 別の空のサムネイルを選択。利用者がいない場合、作成。これにより、パネルからの画像リカバリ処理を開始します。 <p>有線の DR 検知器ではケーブルを確認。</p> <p>新規検査で、リカバリした画像が NX ワークステーションで利用可能になります。デフォルトの照射タイプで処理されています。</p>  <p>図 1: 回復画像に含まれる新しい検査では、ウィンドウのタイトルバー内のドロップダウンリストを確認してください。</p> <p>検査ウィンドウのセッションの転送ボタンを使用して、該当患者へ回復画像を転送できます。</p> <p>10 分後に NX に画像が表示されない場合、NX を再起動します。</p> <p>NX を再起動するには、MUSICA Acquisition Workstation Control Center > NX へ進み、[NX を完全に再起動]をクリックします。</p> <p>この場合、この画像は処理できませんが、PC の D ドライブのディレクトリへコピーされます。これにより、画像の</p>

故障により、自動画像リカバリ中にソフトウェアがクラッシュすることを防ぎます。



CR 画像が表示されない

詳細	CR デジタイザを使用して画像を取得したが、検査で表示されない。
原因	画像を識別した NX ワークステーションへデジタイザが画像を送信できず、画像が他の NX ワークステーションへ経路指定される。
簡単な解決策	<p>画像がデジタイザに保存されていれば、他の NX ワークステーションへ経路指定できます。デジタイザに画像の経路指定の詳細情報については、デジタイザのユーザーマニュアルを参照してください。</p> <p>経路指定後、新規検査で、リカバリした画像が NX ワークステーションで利用可能になります。デフォルトの照射タイプで処理されています。</p>

リアルタイム動的画像の停止

詳細	照射中に、リアルタイム蛍光透視シーケンスまたは迅速シーケンス画像を停止します
原因	リアルタイム画像を表示しているときに問題が発生しました。
簡単な解決策	<ol style="list-style-type: none">1. 照射の停止2. CTRL + ALT + Kのキーを同時に押します。 <p>取得した動的画像を表示する動的画像フレームが表示されます。</p>

画像の一部しか表示されない

詳細	DR 画像および CR 10-X 画像が、NX によって自動的に検出された関心領域にトリミングされています。トリミングは、画像の非関連領域を取り除くことを意図しています。それにもかかわらず、トリミングによって有益な診断情報が見えなくなる場合が発生することがあります。この場合、ユーザーはブラックボーダーをオフにするか、手動で画質を再開心領域化する必要があります。
原因	自動関心領域の失敗。
簡単な解決策	<p>この問題は次により解決されます:</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラックボーダーとトリミングをオフにする。 • 手動関心領域を適用する。 <p>この問題を避けるため、「関心領域で作業する」に記載の ROI 検出照射技術を使用します。</p>
解決ステップ	<p>ブラックボーダーおよびトリミングをオンまたはオフするには:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画像概要 フレームで画像を選択します。 2. 画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウンリストから、次のアイコンを選択します。 <div data-bbox="370 984 442 1057" style="text-align: center;">  </div> <p>四角形関心領域を描くには:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画像概要 フレームで画像を選択します。 2. 編集 ウィンドウでは、画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウンリストから、下のアイコンを選択します。 <div data-bbox="407 1330 479 1403" style="text-align: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> 3. 一度クリックして四角形の角を 1 つ定義します。 4. ポインタを動かします。

- もう一度クリックして対角を定義します。
- 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。



多角形関心領域を描くには:



- 画像概要**フレームで画像を選択します。
- 編集**ウィンドウでは、**画像処理**ツールセクションの最初のドロップダウンリストから、下のアイコンを選択します。



- クリックして始点を定義します。
- ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。
- 多角形を閉じるには、始点をクリックします。
- 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。



画像が部分的にブラックボーダーで覆われる

<p>詳細</p>	<p>自動関心領域処理中、通常 NX はブラックボーダーを画像に適用します。これらのブラックボーダーは、画像の非関連領域をマスクすることを意図しています。ですが、ブラックボーダーが有用な診断情報をマスクする可能性もあります。この場合、ユーザーはブラックボーダーを非表示にするか、画質を再関心領域化できます。</p>
<p>原因</p>	<p>自動関心領域の失敗。</p>
<p>簡単な解決策</p>	<p>この問題は次により解決されます：</p> <ul style="list-style-type: none"> • ブラックボーダーを非表示にする。 • 手動関心領域を適用する。 <p>この問題を避けるため、「関心領域で作業する」に記載の ROI 検出照射技術を使用します。</p>
<p>解決ステップ</p>	<p>ブラックボーダーを表示/非表示とするには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 検査ウィンドウの画像詳細フレームには幾つかのボタンがあり、画像上で基本操作を実行できます。このボタンにより、関心領域で失敗した場合のブラックボーダーを消去できます。ボタンをクリックして、ブラックボーダーを表示/非表示します。 <div data-bbox="406 1024 480 1097" style="text-align: center;">  </div> <p>四角形関心領域を描くには：</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画像概要フレームで画像を選択します。 2. 編集ウィンドウでは、画像処理ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。 <div data-bbox="406 1375 480 1448" style="text-align: center;">  </div> <ol style="list-style-type: none"> 3. 一度クリックして四角形の角を 1 つ定義します。

4. ポインタを動かします。
5. もう一度クリックして対角を定義します。
6. 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。



多角形関心領域を描くには:

1. **画像概要** フレームで画像を選択します。
2. **編集** ウィンドウでは、**画像処理** ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。



3. クリックして始点を定義します。
4. ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。
5. 多角形を閉じるには、始点をクリックします。
6. 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。






NX が作動していません

詳細	NX がアクティブでなく、作動しません。
解決ステップ	タスクバーに NX があるなら、タスクバーの NX をクリックします。 NX アプリケーションが現れます。 代替ソリューション： MUSICA Acquisition Workstation Control Center > NX へ進み、 [NX を完全に再起動] をクリックします。

ウィンドウ/レベル設定が完全に範囲外である

<p>詳細</p>	<p>画像の自動処理中、NX は自動関心領域パラメータを計算し、これらのパラメータ(ウィンドウ/レベル設定等)を画像に適用します。特殊な状況で、これらの自動関心領域パラメータが間違っている場合があります。</p>
<p>原因</p>	<ul style="list-style-type: none"> • 自動関心領域が、関心領域の検出に失敗した。 • 関心領域が非常に小さい。
<p>簡単な解決策</p>	<ul style="list-style-type: none"> • MUSICA 画像処理を使用している場合: 手動関心領域を適用します • MUSICA2/MUSICA3 画像処理を使用している場合: グローバルコントラストおよび輝度(ウィンドウ/レベル)を調整します
<p>MUSICA 画像処理の解決ステップ</p>	<p>手動で四角形関心領域 (MUSICA 画像処理用) を描くには:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画像概要 フレームで画像を選択します。 2. 編集 ウィンドウでは、画像処理 ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。 <div data-bbox="405 992 479 1065" data-label="Image"> </div> <ol style="list-style-type: none"> 3. 一度クリックして四角形の角を 1 つ定義します。 4. ポインタを動かします。 5. もう一度クリックして対角を定義します。 6. 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。 <div data-bbox="405 1317 479 1390" data-label="Image"> </div> <p>手動で多角形関心領域 (MUSICA 画像処理用) を描くには:</p>

	<ol style="list-style-type: none">1. 画像概要フレームで画像を選択します。2. 編集ウィンドウでは、画像処理ツールセクションの最初のドロップダウン・リストから、下のアイコンを選択します。  <ol style="list-style-type: none">3. クリックして始点を定義します。4. ポインタを動かしてクリックし、各角を定義します。5. 多角形を閉じるには、始点をクリックします。6. 関心領域を表示するために、下のアイコンを選択します。 
MUSICA2/ MUSICA3 画像処理の解決ステップ	<p>グローバルコントラストおよび輝度 (MUSICA2 / MUSICA3 画像処理用) を調整するには:</p> <ol style="list-style-type: none">1. 画像概要フレームで画像を選択します。2. 次のアイコンを選択します。  <ol style="list-style-type: none">3. マウスを使用してグローバルコントラストおよび輝度を調整します。4. 望ましいコントラストと輝度に達したら、画像フレームでクリックします。

アーカイブボタンが無効である

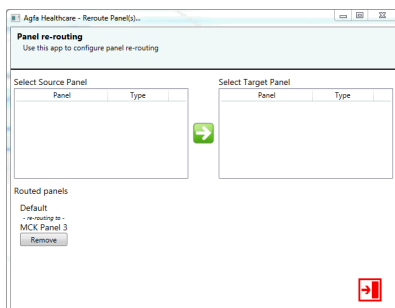
詳細	<p>ユーザーが品質管理タスクを行い、NX ステーション上で検査ファイルの画像を点検した後、画像は通常アーカイブ (またはワークフローに応じて、プリンター) に送信されます。画像を一度だけアーカイブできることをユーザーは知っているはずですが、よって画像がアーカイブされる時、NX ステーションで参照されますが、再びアーカイブはできません ([アーカイブ] ボタンは無効になります)。それでもユーザーが画像を 2 回目にアーカイブすることを望む場合、新規画像として保存する必要があります。</p> <p>画像が拒否されたので、アーカイブボタンも無効にすることができます。この場合、アーカイブするなら画像拒否を取り消しをする必要があります。</p>
原因	<p>画像は既にアーカイブされています。画像は拒否されています。</p>
簡単な解決策	<p>画像を新規画像として保存する</p>
解決ステップ	<p>処理した画像を新規画像として保存するため:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 編集 ウィンドウへ移動します。 2. 画像概要 フレームで画像を選択します。 3. 画像を処理します。 4. 編集 ウィンドウで、新規として保存 をクリックします。 <p>処理済み画像が検査に追加され、画像概要 フレームに表示されます。</p> <p>画像を非取り消しするには:</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 画像概要 フレームで画像を選択します。 画像が画像詳細 フレームに表示されます。 2. 画像の拒否の取り消し をクリックします。

アーカイブはドロップダウンリストで選択できない

詳細	ユーザーが品質管理タスクを行い、NX ステーション上で検査ファイルの画像を点検した後、画像は通常アーカイブ (またはワークフローに応じて、プリンター) に送信されます。画像を一度だけアーカイブできることをユーザーは知っているはずで、よって画像がアーカイブされる時、NX ステーションで参照されますが、再びアーカイブはできません (アーカイブのリストから [アーカイブ] をもう選択できません)。それでもユーザーが画像を 2 回目にアーカイブすることを望む場合、新規画像として保存する必要があります。
原因	この画像はアーカイブにすでにアーカイブされています。
簡単な解決策	画像を新規画像として保存する。
解決ステップ	処理した画像を新規画像として保存するため: <ol style="list-style-type: none">1. 編集 ウィンドウへ移動します。2. 画像概要 フレームで画像を選択します。3. 画像を処理します。4. 編集 ウィンドウで、新規として保存 をクリックします。 処理済み画像が検査に追加され、 画像概要 フレームに表示されます。

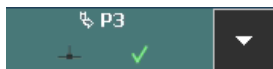
DR 検知器は故障しています

詳細	DR 検知器のステータスが赤になっています。
原因	NX ワークステーションと DR 検知器の通信が失われています。
簡単な解決策	<ol style="list-style-type: none"> 1. NX を完全に停止します。 NX を完全に停止するには、MUSICA Acquisition Workstation Control Center > NX > Service へ進み、[NX の停止] をクリックし、コマンドウィンドウで Enter を押し手順を確定します。 2. X 線システムを再起動します。 これにより、X 線システムの一部である修正された DR 検知器が再起動します。詳細については、X 線システムのユーザーマニュアルを参照してください。 3. NX を起動します。 NX を開始するには、Musica Acquisition Workstation Control Center > NX へ進み、[NX を完全に再起動] をクリックします。 4. ポータブル DR 検知器が再起動します。 詳細については、DR 検知器のユーザーマニュアルを参照してください。
原因	DR 検知器が正常に動作しません。
簡単な解決策	<p>NX ワークステーション内で、別の DR 検知器が利用可能として構成されている場合、故障している DR 検知器の代わりとして一時的に構成できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. MUSICA 取得ワークステーションコントロールセンター > NX へ進み、再ルーティングダイアログを開き、DR パネルリルート をクリックします。



2. 左側のリストから DR 検知器の故障を選択し、右側のリストから DR 検知器の交換を選択します。
3. グリーン矢印ボタンをクリックします。
4. ダイアログを閉じます。

各検査時に、DR 検知器の故障に使用される構成が開始され、DR 検知器の交換が使用されます。これは、DR 検知器名の前にある矢印により、**DR 検知器スイッチ**内で示されています。



5. DR 検知器が再び動作したら、ダイアログのリルート内で**削除**ボタンをクリックします。

間違った照射でカセットが識別される - スキャン前に検出される

詳細	通常は、ユーザーは NX ステーションで照射を選択し、ID Tablet に照射でカセットを挿入し、次に[ID]ボタンを押して照射を識別します。ユーザーが最初に NX で間違った照射を選択して、間違った照射でこのカセットを識別することはありえると思われます。新規の識別を行って、ユーザーはこの誤りを解決できます。
原因	ユーザーの誤り。
簡単な解決策	正しい照射で再識別する。
解決ステップ	正しい照射でカセットを再識別するには: <ol style="list-style-type: none">1. ID Tablet にカセットを再挿入します。2. 検査概要フレームで、正しいサムネイルを選択します。3. 検査ウィンドウの ID をクリックします。

カセットが間違った照射で識別され、画像が受信された

詳細	通常は、ユーザーは NX ステーションで照射を選択し、ID Tablet に照射でカセットを挿入し、次に[ID]ボタンを押して実際に照射を識別します。ユーザーが最初に NX で間違った照射を選択して、間違ったカセットでこの照射を識別することはありえると思われます。画像がすでにデジタル化されて、NX で表示される時にユーザーがこの誤りを発見した場合、照射のデータを編集してユーザーはこの誤りを解決できます(カセットを再識別または再デジタル化せずに)。
原因	ユーザーの誤り。
簡単な解決策	照射データを編集します。
解決ステップ	<p>照射データを編集するには:</p> <ol style="list-style-type: none">1. 検査ウィンドウへ移動します。2. 編集する画像が選択されていることを確認します。3. 画像詳細フレームで編集をクリックします。 <p>画像詳細編集フレームが上部に開きます。</p> <ol style="list-style-type: none">4. 照射タイプを変更するには、検査/照射名を示すボタンをクリックしてください。 <p>これにより、新規の検査/照射タイプを選択できる[画像追加]ダイアログが表示されます。</p> <p>照射タイプ選択後、このダイアログは自動的に閉じます。</p> <ol style="list-style-type: none">5. OKをクリックして、変更を適用して、編集ダイアログを閉じます。

ユーザーの誤りのため、間違った患者データでカセットが識別される

詳細	画像が間違った患者データと関連して NX 上で表示されることは起こりえます。これは、カセットを間違った照射データで識別することにより起こりえます。この場合、最も効率的な解決策は、1つの検査から別の検査(間違いから正しい患者へ)へ画像を転送することです。
原因	ユーザーの誤り。
簡単な解決策	正しい患者へ画像を転送します。
解決ステップ	<p>正しい患者へ画像を転送するには:</p> <ol style="list-style-type: none">1. ワークリストウィンドウで、画像を転送することを望む検査を選択します。画像が画像概要フレームに表示されます。2. 画像転送をクリックします。 画像転送ウィザードが開きます。3. 画像概要フレームで、転送を望む画像を選択します。 画像がウィザードに表示されます。4. 継続をクリックします。5. ワークリストウィンドウで、画像が転送される検査を選択します。 患者データがウィザードに表示されます。6. 継続をクリックします。 転送概要が表示され、全情報が正しいかを確認します。7. 完了をクリックします。 画像が転送されます。

DX-M デジタイザのカセットを識別する際のエラー、「有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」。

詳細	カセットを識別する際に、このエラーが表示されます:「エラー、有効な画像プレートゲインの校正ファイルが見つかりません」。カセットを使用できません。
原因	NX ワークステーションで IP (画像プレート) ゲインの校正ファイルを使用できません。
解決策 1: IP (画像プレート) ゲインの校正 CD を使用できる場合	カセットと共に納品される「IP Gain Calibration」(IP (画像プレート) ゲインの校正)というラベルの CD を用意して、NX ワークステーションに IP (画像プレート) ゲインの校正ファイルをロードします。
解決ステップ	ゲインの校正ファイルをインストールするには: <ol style="list-style-type: none">1. CD を NX ワークステーションに挿入します。2. CD にブラウズします。3. アプリケーション 'install.exe' を実行します。4. 画面に表示される説明に従ってください。
解決策 2: IP (画像プレート) ゲインの校正 CD を使用できない場合	サービスセンターにお問い合わせください。

デジタルトモシンセシス再建の失敗

詳細	シーケンスの取得は見えますが、シーケンスの再建が見えません。エラーメッセージが表示されます。
原因	エラーメッセージは、問題の原因を示しています。
簡単な解決策	<p>「ハードウェアの GPU に問題があります」というエラーメッセージがある場合、再建設定を調整し、再建を再度実行してください。問題が解決しない場合には、現地のサービスセンターにお問い合わせください。</p> <p>「データ不具合のために再建に失敗しました」というメッセージがある場合、再建設定の関連領域または鮮明さを低の方へ調整し、再建を再度実行してください。</p> <p>再建の失敗が続く場合、患者の位置および X 線モダリティ設定を修正し、X 線システム作動、X 線照射パラメータをコントロールしてください。</p>